

ナナ娘。です。

福祉
当別



広報

とらべつ

四季の彩があふれるまち

2004
12月号
December

少年の意見発表会で自己主張！（11月20日・自樺コミュニティーセンター）

ホームページアドレス <http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

永年の貢献に敬意を表します

当別町表彰式

町政功労者賞



大澤 勉さん（六軒町・66歳）

昭和63年から平成11年9月まで11年間当別町教育委員会委員、平成11年10月から現在まで5年間当別町教育委員会委員長、昭和58年から平成5年3月まで10年2月間駐在員として町勢の振興発展に貢献されました。



柏樹 正さん（美里・57歳）

昭和50年から現在まで29年5月間当別町議会議員として町勢の振興発展に貢献されました。



大畑 博行さん（末広・69歳）

昭和46年から現在まで33年6月間当別町交通安全指導員、昭和48年から昭和58年5月まで10年間当別町交通安全協会理事、昭和58年6月から現在まで21年4月間当別町交通安全協会監事として町勢の振興発展に貢献されました。



市川 正さん（川下・61歳）

昭和62年から平成14年まで15年間当別町農業委員会委員、平成11年から現在まで5年5月間当別町議会議員として町勢の振興発展に貢献されました。



松田 愿正さん（高岡・78歳）

昭和49年から昭和54年まで5年5月間石狩地区農業共済組合理事、昭和51年から平成5年まで17年間石狩北部森林組合理事、平成4年から平成16年3月まで12年間当別町観光協会理事、昭和61年から平成10年3月まで12年間駐在員として町勢の振興発展に貢献されました。



河原 諒一さん（弥生・64歳）

昭和46年から現在まで33年6月間当別町交通安全指導員、平成7年から現在まで9年5月間当別町交通安全協会監事として町勢の振興発展に貢献されました。

永年にわたり、当別町の発展に尽くされた方や善行があった方を表彰する「当別町表彰式」が11月3日（文化の日）に「ゆとろ」で行われました。今年、町政功労者6名、自治貢献賞4名、社会貢献賞3名、産業貢献賞1名、教育文化貢献賞2名、善行賞2名、感謝状2名の計20名の方に贈られました。

平成16年度 当別町表彰式




高橋千枝子	安達史子	平よね子	久須美晋	久保義雄	戸田紀夫	庵義隆	写真のお名前 (敬省略)
佐々木助役	倉橋昭二	松田武光	谷口安喜男	後藤正洋	内山富明	高橋嘉弘	
	松田 正	大畑 博行	大澤 勉	泉亭 町長	柏樹 正	市川 正	河原 諒一

自治貢献賞

(敬省略)

後藤 正洋 (元町・49歳)	平成5年から現在まで11年3月間、当別町議会議員として自治の振興発展に貢献されました。	高橋 嘉弘 (園生・62歳)	平成2年から現在まで14年間、当別町教育委員会委員として自治の振興発展に貢献されました。
谷口安喜男 (若葉・57歳)	昭和47年から平成16年3月まで32年間当別消防団員、平成11年から現在まで5年3月間当別町農業委員会委員として自治の振興発展に貢献されました。	松田 武光 (末広・58歳)	昭和44年から平成2年4月まで21年1月間当別消防団員、平成10年から現在まで6年7月間当別都市計画事業当別幸町土地区画整理審議会委員として自治の振興発展に貢献されました。

社会貢献賞

齋藤 明雄 (高岡・70歳)	昭和58年から現在まで20年10月間、民生児童委員として社会福祉の増進に貢献されました。	平 よね子 (太美町・65歳)	昭和58年から現在まで20年10月間、民生児童委員として社会福祉の増進に貢献されました。
倉橋 昭二 (中小屋・73歳)	昭和53年から現在まで26年9月間、中小屋東部納税貯蓄組合長として納税思想の普及に努め納税成績の向上に貢献されました。		

産業貢献賞

内山 富明 (東町・87歳)	昭和37年から昭和43年まで6年間石狩地区農業共済組合理事、昭和45年から昭和48年まで3年間当別農業協同組合理事、平成5年から現在まで11年7月間石狩北部森林組合理事として農林業の振興に貢献されました。
--------------------------	--

教育文化貢献賞

安達 史子 (北栄町・58歳)	昭和59年4月より現在まで20年5月間、当別町体育指導員として体育振興の発展に貢献されました。	久須美 晋 (江別市・59歳)	昭和59年4月より現在まで20年5月間、当別町体育指導員として体育振興の発展に貢献されました。
---------------------------	---	---------------------------	---

善行賞

庵 義隆 (中小屋・69歳)	中小屋円沼公園造成のため多額の寄付をされました。	戸田 紀夫 (弥生・78歳)	当別町指定文化財保存のため多額の寄付をされました。
--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------------

感謝状

久保 義雄 (弥生・65歳)	商店街に賑わいを創出する企画や活動をし、商店街の活性化に向けて貢献されました。	高橋千枝子 (春日町・62歳)	日頃から陶芸指導やふるさとシンフォニー当別などの活動を通して町民へ芸術のすばらしさを与えられました。
--------------------------	---	---------------------------	--

危険業務従事者叙勲を受章

国が警察や自衛隊・消防など危険性の高い業務に自己を犠牲にして社会貢献した方に贈る「危険業務従事者叙勲」が町内5名の方に贈られました。

おめでとうございます。

瑞宝双光章

新井靖之さん(東町・61歳) = 元1等空尉
松浦 弘さん(美里・61歳) = 元3等海尉

瑞宝単光章

安榮 弘さん(北栄町・69歳) = 元石狩北部地区消防事務組合消防司令
高橋 堂さん(北栄町・61歳) = 元准空尉
中面恵士さん(春日町・60歳) = 元石狩北部地区消防事務組合消防司令補



私たちの未来 こんなまちに 住んでいたい

皆さんが描く当別の未来
はどんな未来でしょうか。
町が進める行財政改革の



プランづくりでワーク
ショップやグループインタ
ビューなどにたくさんの方
民の方が参加し、これら
の当別について真剣な話が
交わされました。



第3回 ワークショップ

ワークショップ最終
回を11月10日に開催し
ました。
前回に引き続きグ
ループごとに最終意見
の取りまとめを行い締
めくくりました。その
概要をお知らせします。

地域づくりと人づくりグループ

「町民活動支援室」の設置

行政の考え方を一新し、コーディ
ネートの立場の部署が必要であり、
具体的で必要性のある町民の提案に
対して結果が出せる担当部署を設
置し、行政と町民が一体となってい
くことでネットワークの広がりやパ
ートナリシップにもつながる。また、
専門的知識も必要となるので民間人
の登用も検討すべきである。

住民参画とボランティアグループ

ボランティアネットワークセンター
(仮称)の設置
ボランティアを必要とする人への
派遣やボランティアの登録などを行
い、役場と町民の間を取り持つよう
な組織として、人材の育成や発掘に
も取り組んでいく。

また、多くの町民がボランティア
に対する認識を持つことで、住民参
画への足がかりとなる。

民間と行政の役割分担グループ

行政のスリム化とこれに伴う受け皿
作り「官民共同運営と歳出削減」
行政サービスの枠組みを変更し最
低限のサービスとし、高度技術を要
するサービスは道に委託。NPOに
出来る事業は、NPO委託とする。
未利用の土地や施設を法人に譲り
有効利用。自立経営の出来る事業
は、第3セクターとし、将来は法人
化。さらに町営の施設は、民間売却
し官民共同で運営する。

地域の経済発展と産業・法人育成

企業育成や誘致のための優遇措置
を検討し、産業法人育成のため一次
産業PRの活性を併せ、生産者と消
費者の接点づくり。また広報誌作成
の民間委託、情報ネットワークの強
化が必要である。

快適で住みやすい町づくりグループ

利用しやすい交通手段

循環バスの運行・福祉バス利用範
囲の拡大・除排雪体制などを検討。
どの課題でも一定程度の利用者負担
はすべきである。

町の活性化

ゴミ処理・学生の定住などを議論。
ゴミ処理は、住みやすい町の重要な
条件であると位置づけ、地域ぐるみ
の取り組みが大切。また、「学生の
定住」を進めるためには、絶対的な
方策は無くとも、様々な角度からの
取り組みが必要である。

グループ インタビュー



11月5日と7日の2日間、公募に
よりお集まりいただいた町民25名
が、年代ごとに5つのグループに別
れてグループインタビューを行いま
した。

北海道医療大学の横井寿之先生の
進行で、参加者から、これからの当
別町に対する様々な意見やアイデア
が提案されました。

ワークショップとグループインタ
ビューで出された多くの貴重な意見
を集約し、再構築プランに盛り込む
べきものなどを判断しながら、プラ
ン策定を進めると共に、取りまとめ
の詳細は町ホームページなどでお知
らせします。

グループインタビューの内容

各グループの特徴	主な意見
高校生・大学生グループ（参加者6名）	
当別町で生まれ育った高校生と当別町に転入してきた大学生という構成で、行政との関わりが日常的には少なく、町への興味は、「住環境」や「違う世代間との交流」が主なものでした。	<ul style="list-style-type: none"> ◆若者向けの店、新しい店が少ない。 ◆学生を快く受け入れ学生からの行動がしやすい町で、町民も連携してくれる。 ◆街路灯が少なく、暗い。 ◆ごみに関して、学生や若い人の意識が低い。
若者グループ（参加者4名）	
当別町内で働いている20代の若者で構成。高校生・大学生グループと同様、行政との関わりが日常的には少なく、町への興味は、「買い物」や「集まれる場所」などが主なものでした。	<ul style="list-style-type: none"> ◆若い人が集まれる場所、楽しめる場所が少ない。 ◆伊達武士のまち、ふくろう、花、道民の森などの資源をもっとアピールすべき。 ◆品ぞろえは良くないが、町内で買えるものは町内で買うという意識が必要。
育児・教育期の女性グループ（参加者5名）	
子育て時期の女性グループであり話題の中心は、「子どもの環境」とそれに伴う「親の環境について」。	<ul style="list-style-type: none"> ◆公民館図書室は、入りづらく場所も不便。 ◆公共施設が役場付近に集中配置しているととても便利。 ◆グループインタビューのように、町と身近な話し合いが出来ると良いと思う。
行政に対しては、効果的な「話し合いの場」の積極的な活用を求めています。	
社会人グループ（参加者5名）	
基本的に子育ての時期が終わり、ボランティアなど地域活動に携わっている40代・50代のグループ。	<ul style="list-style-type: none"> ◆行政は閉鎖的で説明不足、一方、町民も行政の情報を知る努力が必要。 ◆JR沿線の人たちを取り込める魅力的なまちづくりが必要。 ◆駅前など人目につく場所に重点的に花を植えた方が効果的。
「町民と行政との情報が共有されていない」という点に、強い問題意識を感じていました。	
高齢者グループ（参加者5名）	
今回のグループの中では、最も地域に密着したグループで、話題の中心は、「地域づくりとコミュニケーション」。	<ul style="list-style-type: none"> ◆当別の除雪は、札幌と比べると恵まれている。 ◆一人暮らしになったら不安だが、近所同士が助け合う地域づくりが必要。 ◆空き店舗対策について、多くの知恵を出し合えば良い考えも生まれる。
行政に対しては、過度に依存することなく「協働」が必要との認識でした。	

町長の日記

16年11月16日(火)

今年から文化祭の発表会場が総合体育館と白樺コミセンに統一されスペースも広くなり11月5日から7日迄催されたから入場者は例年よりそうとう多かった。

子供のピアノ発表会は3日に西当別コミセンで催されたが、いずれの会場でも文化団体の方々が一生懸命準備されていたのには感心した。お陰で3,000人近くの方が展示会や発表会を楽しめたのだから、文化協会の方々には頭が下がる。

文化祭の幕開けの混声合唱団が又よかった。小さな街では混声合唱は難しいのだが、30人ほどの熟年男女が長いドレスと蝶ネクタイでステージに立って歌った姿はさながら一流コンサートホールにいるように感じ美しかった。日頃見慣れた人までが、まるで別人のように素適に感じた。

本通りの「あえ～る」で一年中、陶芸、盆栽、絵画、刺しゅう、押花展等いろいろな個人展示会が開かれているが、今回町内の和菓子屋さんが催している写真展は「当別の四季」と云うテーマで当別町内の地域毎の風景を撮ってまるで、町内ごとに美しさを競わしているようで面白い。

この町は文化団体が60以上もあるが、長い歴史と伝統のある団体もあるし個人でもすばらしい文化的な活動家がいるのを改めて認識した。

農業をアグリ・カルチャーだと云って市場価値のない傷人参でジャムを造ってる人達も元気がいい文化活動だと思う。

当別の石碑をたどって文庫を発刊した老人パワーもたいした文化だと尊敬する。

文化会館が無くても頑張ってくれている人がこんなにいる町が道内にあるだろうか。

台風にもめげず今年も役場のホールに飾ってくれた菊に毎朝目で挨拶して町長室に向う。

当別町長衆亭俊考

広報誌で紹介した写真または
データを希望者に提供します。

●お申し込み●

秘書課広報広聴係 ☎ 23-3069 へ

光ケーブルによる待望の高速インターネットが実現

(11月23日)



テレビ電話対談



インターネット体験コーナー

町商工会と西当別に高速インターネットの実現を目指す会の主催で高速ブロードバンドサービス開通記念イベントが西当別コミセンで開催され、町民約300人が来場し高速インターネットを体験しました。

当日は、開通セレモニーとして高橋はるみ知事と泉亭町長のテレビ電話対談が行われました。高橋知事は「道内では、光ケーブルによるサービス提供は24の市町村しかありません。住民が主体となった誘致活動により早期実現できたのは大変喜ばしいことです」とお祝いを述べ、泉亭町長は「これからはITをいろいろな分野で活用したまちづくりを積極的に進めていきたい」などの会話を行いました。また、各ブースの高速インターネット体験コーナーや映画上映コーナーは、たくさんの人で賑わっていました。

農業経営体と意見交換会

(11月5日)



今年から始めた農業の経営体による営農について話し合う経営体と町との意見交換会が開かれました。

町長は「これからは『当別町水田農業ビジョン』に示されているように、整備された大切な農地を不耕作地とすることなく、高齢者も小規模農家も農業が維持出来るように組織化した営農が不可欠で、経営体自らが『加工や販売』を行い農業生産額の向上を目指すことが必要」と説明しました。経営体代表者からは、今年の経営体の状況や問題点などが出され、今後に向けた話し合いが活発に行われました。

「町長に質問します」子ども議会

(10月26日)



今年で3回目となる「子ども議会」が開催され、町内中学校から代表22人が町議会議場に集まりました。

松尾選挙管理委員長から当選証書を一人ひとりに手渡され、議長には菅原一馬くん(当中3年生)、副議長に國見里紗さん(西当中3年生)が選ばれ、議事運営に当たりました。

質疑に先立ち新潟県中越地震の義援金募金についての緊急動議が提出され、満場一致で可決されました。

また一般質問には「なぜ市町村合併をやめたのか」、「給食メニューの焼き魚が焦げすぎている」などあらゆる分野から10人が質疑に立ち、泉亭町長や高橋教育長が丁寧に答弁を行いました。

強盗！ 冷静な対処で防犯訓練

(11月16日)



中小屋郵便局で行われた強盗防犯模擬訓練。窓口業務の局員に北警察署員が扮した犯人が拳銃を向けて現金を要求し、その後逃走。局員は防犯ベルを押し110番通報するなど緊迫した中で行われ、歳末の犯罪防止に気を引き締めていました。

笑顔こぼれる「ふれあい会食会」

(11月10日)



槍投げゲーム



昼食作り

町社会福祉協議会は配食サービスの利用者と配食ボランティアが交流する「ふれあい会食会」を開催しました。現在、一人暮らしなどで配食サービスを利用している方は約60人で、88人のボランティアが交代で昼食を配るほか安否の確認などを行っています。

この日は、ゆとろを会場に、配食サービスの利用者19人とボランティア23人が参加し、槍投げゲームやビンゴゲームを楽しみ、なるさわゆみさんのアコーディオン演奏を聴くなどして、交流を深めました。また、7人の配食ボランティアの方々が料理した押し寿司などを参加者全員でテーブルを囲み昼食を取り、普段よりにぎやかな食事に会話も弾みにこやかな表情が印象的でした。

当別町赤十字奉仕団(田村則委員長)が創設40周年記念式典を白樺コミュニティーセンターで開催しました。

ろうそくを手にした20人の団員がステージ上がるキャンドルサービスで幕を開け、20年以上奉仕活動を続けてこられた方などに分区長である泉亭町長から感謝状が渡されました。

同奉仕団は、友愛セールや神社・墓地の清掃、災害地への義援金送金など幅広い活動が続けていて、田村会長は「奉仕団員の信条を守りこれからも奉仕の心を継承していきたい」と決意を新たに挨拶されました。



「人道・博愛」胸に40年の歴史

(11月12日)

お笑いから学ぶ環境問題

(11月17日)



町保健衛生会は昭和24年設立され、ゴミ拾いや花の種、球根の配布など、環境衛生の改善や美化活動に取り組んでいます。

この日は、同会の設立55周年記念講演会「環境問題はお友達」がゆとろで開催され、町民約100人が故・林家三平一門の林家ライス・カレー子さんの身近な環境問題を織り交ぜた歯切れのいい漫才を楽しみました。最後に町が実施予定の家庭ゴミを減らす取り組み「分けて、減らして100グラム運動」を題材に『なぞかけ』を披露し会場の大きな笑いで締めくくりました。

色とりどりにお花をアレンジ

(10月31日)



当別花卉生産組合(須藤正昭組合長)は、フラワーアレンジ講習会を田西会館で行い、町民約70人が参加し、町内生産のユリやチューリップ、カスミソウのほか、ほうずきや小さなかぼちゃなど色とりどりの小物を使い、フラワーデザイン会社講師の指導でリース型のフラワーアレンジを楽しみました。

須藤組合長は「今年は、台風の影響で例年より花の種類が少なかったけれど組合員と講師の方の協力で開催ができた。これからも当別の花をPRしていきたい」と語っていました。

特色ある“学校づくり”を目指して!!

ときめきフェスティバルを開催

西当別小学校



本校では、「自主的な活動をとおりて、児童の主体性・実践力を育てる」「集会活動を創造的に楽しく実施し、児童相互の交流を深め、連帯感を強める」ことを目標に、多数の保護者や地域の方も参加した「ときめきフェスティバル」を9月28日に盛大に行いました。児童はパレードや

全校児童によるヨサコイ、出店など数多くのメニューを準備しフェスティバルを楽しみました。また、3～6年生は、ダンボールやペットボトルなどを使った出店作りや、商品販売にはお金の代わりにリングプルを使用し、全校児童が取り組んでいる車椅子寄付に役立てるなど、リサイクルや福祉の意識向上にもつながりました。

ふれあい かかわりあい

当別町教育委員会
☎23-2689

失敗も大きな学習

～園児の稲刈り体験サポート～

当別高等学校



9月16日、本校定時制農業科に石狩の友愛幼稚園から園児30人が訪れ、稲刈りを体験しました。

幼稚園からの依頼で今年初めて行う農業体験に園児たちは、

まず春に泥んこになって田植えに挑戦。2回目は花の観察、そして今回収穫の秋を迎えました。この日は2年生が優しく丁寧に鎌の使い方を教え、大きな鎌を手一生懸命稲を刈る園児たちを危険がないように注意深く見守り、楽しく活動をサポートしました。また、併せて収穫したじゃがいもなどをみんなで楽しく食べました。

世界の人達と交流を!

弁華別小学校



本校では、「総合的な学習の時間」で国際理解交流会を昨年から行っています。他国の生活や文化を知り、お互いの生活や文化を尊重し、よさを認め、自分を素直

に表現できる子供を育てたいと考えています。

今年は、11月2日にタイ出身の留学生サムットさんが来校しました。6年生は事前にタイについて調べたことを質問して生活や文化、言葉などを教わりました。昼食にはタイ料理のトムヤンクンを一緒に作って味わったり、昼休みには、タイの子供たちの遊びの「頭ずもう」や「トラと象」などを楽しみました。

伝統文化民謡に親しむ

当別中学校



11月1日、本校では、1・2年生を対象に初めて民謡教室を開きました。札幌民謡連盟の5人の方が来校し、おなじみの民謡ソーラン節や

江差追分、北海盆歌などを披露しました。

生徒の多くは、初めて生の演奏を聴き、伸びのある声に感心し聞き入っていました。その後、三味線、尺八、和太鼓に実際に触れて、日本文化を肌で感じ民謡の学習を深めました。これを機会に少しでも生徒が民謡に興味を持つことが出来ればと思っています。

～人の心を豊かにする音楽～

「音楽の集い」を開催



小学生の発表10/20



中学生の発表10/21

町内の全小・中学校がそれぞれ一堂に集まり合唱や器楽演奏を発表する「音楽の集い」が開催されました。両日とも大勢の保護者が見守る中、小学校1年生にはとても難しい曲の演奏や中学生の美しいハーモニー、琴などの美しい音色が会場に響き渡り、会場が一つになりました。



いろいろなスポーツにチャレンジ

「子供スポーツ体験教室」を実施

町教委では、小学校4～6年生を対象に子供たちに数多くのスポーツに慣れ親しみ、スポーツの素晴らしさを体感してもらおうと、「子どもスポーツ体験教室」を土曜日に実施しています。ミニバレーなど5つの種目を毎週行い、町内の団体や個人の方がボランティアで指導にあたり、スポーツの楽しさなどを教えています。



初日の11月13日は18人がソフトバレーボールに挑戦。ソフトバレーボールサークル「すずらん」の7人が指導しました。最初はボールが思うように使えないなど子供たちは悪戦苦闘しましたが、1時間もすると目を見張る上達ぶりです。後半には試合形式のプレーを楽しみました。

教室は、12月18日までの毎週土曜9時30分から12時まで西当別コミセンで実施しています。参加希望の方は総合体育館まで問い合わせください。

スーパードッジボール大会を開催



町子ども会育成連合会主催のスーパードッジボール大会が11月21日に総合体育館で開催されました。17チーム約200人の小学生・中学生・母親が参加し熱戦を繰り広げました。決勝戦は若葉子ども会と緑町子ども会で行われ父母たちの応援にも熱が入る中、熱戦の末、若葉子ども会が優勝し大森会長より優勝旗が授与されました。

- 優勝 若葉子ども会
- 準優勝 緑町子ども会
- 第3位 北栄町B子ども会、六軒町子ども会、春日町A子ども会

町少年の意見発表会で

9人が熱弁



町青少年問題協議会主催「当別町少年の意見発表会及び青少年健全育成町民の集い」が11月20日に白樺コミセンで開催され、父母や教育関係者など約200人が参加しました。意見発表会では小学生9人の意見は文集にまとめて配布されたほか、中学生6人、高校生3人が日頃感じ考えていることを堂々と発表しました。また、小学生・中学生の代表2人による“いじめ防止決意宣言”を参加者全員で確認し、決意を新たにしました。

なお、今回から各部門の最優秀賞の選考が行われ、小学生の部は「菅野あゆみさん・当小6年生」、中学生の部は「朴梨華さん・西当中3年生」、高校生の部は「湯浅友美さん・当高3年生」が受賞しました。

“食”シリーズ 初めての給食にっこり



給食センターでは、毎年、町内の幼稚園と保育所の年長児に学校給食の試食を体験してもらっています。今年の一歩のりに、鉄北幼稚園の園児30人が給食センターを訪れました。

メニューは塩ラーメン、牛乳、コーンソテー、たこ焼きで、中にはピーマンが嫌い、コーンが食べられないなど好き嫌いを言う園児もいましたが、引率の先生や栄養士の声かけに少し食べたり、全部食べたりと頑張っていました。この日のメニューは園児の好きなものが多くあって、ほとんどの園児が残さず食べ「小学校に行ってから給食、食べてね」の声に元気に「は～い！」と答えていました。

国保

助成します 短期人間ドックの検査料

国民健康保険では、短期人間ドック健康検査料のうち、15,000円を助成します。

対象者 国民健康保険に加入している40歳から64歳までの方。

申請方法

対象医療機関に検査を申し込んだ後、役場国保窓口で国民健康保険証を持参してください。

国民健康保険被保険者健康診査受診券を交付します。

人間ドック助成の対象医療機関

- ◇勤医協当別診療所（未広）
 - ◇堀江病院（樺戸町）
 - ◇当別ファミリークリニック（ピトエ）
 - ◇札幌厚生病院（札幌市中央区）
- 問合せ 住民生活課国保年金係
（☎23 - 2467）

当別高校国際協カクラブコンサート 地球のステージ2

◇日時 12月10日（金）

開場17時50分 開演18時20分

◇場所 当別高校（上履持参）

◇内容 戦争の傷跡が残る国々で、医療支援活動を続ける桑山紀彦さんが自ら撮影した映像と自作の音楽で紹介する、ステージ1の続編。

◇入場料 無料ですが、パレスチナ支援団体の募金として300円お預かりします。

◇問合せ 当別高校・田辺（☎23 - 2444）

会場にお持ち寄りください

家庭に眠っている品物を世界の子供たちに分けてください。
鍵盤ハーモニカ・リコーダー・柔道着・絵本・算数セット・絵の具セット・クレヨン・ベルマークなど。



当別町成人式

対象者 昭和59年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた方。（住民登録のない帰省中の方も出席できます。事前に連絡ください。）

日時 平成17年1月9日（日） 11時～（受付10時）

会場 総合体育館（白樺町）

記念写真 男女別記念写真を当日受付します。

連絡先・詳細 町教委社会教育課（「総合体育館」内・☎22-3834）

年末・年始の休業日のお知らせ

施設 など	休業日
役場本庁舎・第二庁舎・太美出張所・総合保健福祉センター「ゆとろ」	12月31日～1月5日
公民館・世紀分館・総合体育館・白樺コミュニティセンター・西当別コミュニティセンター・青少年会館・青少年センター	12月30日～1月5日
みどりヶ丘墓苑	1月1日～3日
一般家庭ゴミ収集 （詳しくはごみカレンダーをご覧ください。）	12月31日～1月3日
し尿汲み取り 年内にし尿汲み取りを希望する方は、12月17日までに(有)当別清掃社（☎22-3056）へ申し込みください。 なお、年末年始は大変混み合いますので早めの申し込みを。	
戸籍住民窓口 戸籍関係の届出（出生・死亡・婚姻届など）は、年末年始休みににかかわらず、役場本庁舎「警備員室」にて受け付けています。	

スウェーデン交流センター情報

◇開催日 12月12日（日）

◇時間 13時～17時

（ルシア姫の隊列の行進は16時から）

◇会場 スウェーデン交流センター



スウェーデン伝統の光の祭「ルシア祭」

今年も、スウェーデンの長く厳しい冬のお楽しみ、「ルシア祭」を開催。ルシア姫とお付きの子供たちが「光」を運ってきます。冬のひとときをゆつたりとお過ごしください。「講習会シリーズ」・「クリスマスマーケット」も開催します。詳細はお問い合わせください。

問合せ スウェーデン交流センター（スウェーデンヒルズ）

☎26-2360/FAX26-2992/E-mail: swedcent@aioros.ocn.ne.jp

入場
無料

北海道医療大学吹奏楽団

第11回定期演奏会

日時 12月12日（日） 開演13時
（開場12時30分）

会場 札幌コンサートホール
kitar（札幌市中央区中島公園）

問合せ 同楽団企画部・柳橋
（☎090 - 4870 - 6231）



水道凍結注意!

凍結予防で事故を 防ぎましょう

《水道を凍結させないために》

水抜き栓による水道管の水抜き方法

蛇口を開く。(台所、洗面所など)
水洗トイレはタンクのレバーを『大』の方向に回し固定する。
水抜き栓上部のハンドルを『止め』の方向までいっぱい回す。
で開けた蛇口をしばらくしてから閉める。

◆栓の種類は、ハンドル式、レバーを倒す機種、リモコンによる遠隔式などがあります。

◆湯沸かし器などは、その仕様に基づいた操作で水抜きを。

◆屋外の散水栓も忘れずに。

《このような時は凍結注意》

▽外気温が - 4 以下になった。

▽旅行などで家を不在にする。

▽一日中外気温が氷点下の真冬日が続いた。

《もし凍結したら》

◆次の水道修理協力店へ連絡を。

▽毎月 1 日～10 日

辻野建設工業(株) (☎23 - 3579)

▽毎月11日～20日

大栄建工(株) (☎23 - 2032)

▽毎月21日～月末

三共建設(株) (☎23 - 3519)

水道に関する問合せ

水道課 (☎22 - 2411)

元町浄水場 (☎23 - 2713)

登録

年度末は混雑します 自動車の変更手続きは早めに

自動車をお持ちの方で、次の変更事項が生じた方は登録手続きが必要になります。

詳細は、車検証をお手元に用意してからお問い合わせください。

①住所や名前が変わった。

②車を売ったり、買ったりした。

③車を使用しなくなった。

④ナンバープレートを紛失、破損した。

⑤札幌以外のナンバープレートで
使用している。

⑥ローンの支払いが終わった。

⑦車検証やステッカーを紛失、破損した。

⑧後ろのナンバープレートに封印が
付いていない。

詳細 北海道運輸局札幌運輸支局
登録部門(札幌市東区北28条東1丁目・☎011 - 731 - 7169)/ホームページ:

<http://www.mlit.go.jp/hokkaido/index/sapporosikyoku/index.htm>

農委選挙

提出期限は1月10日まで 農業委員会委員選挙人名簿登載申請書

12月中旬に各地区農事組合長を通じ農業委員会委員選挙人名簿登載申請書を配布します。

平成17年1月1日現在で次の要件を満たす方は、申請書に記入し農事組合長に提出願います。

◆要件

当別町内に住所を有し、満20歳以上の方。(昭和60年4月1日以前に生まれた方)

30アール以上の農地を現在耕作している農業経営主。

農業経営主の配偶者または同居の親族で、年間60日以上農業に従事している方。

登載すべき要件が満たされているのに、申請用紙が配布されていない方は、農業委員会事務局までご連絡ください。

また、要件が満たされていても名簿に記載されていないければ、投票もリコ - ルの請求もできません

のでご注意ください。

問合せ 農業委員会事務局
(☎23 - 3279)

年金

国民年金保険料は 社会保険控除となります

◆国民年金保険料と税

納付した国民年金保険料は、所得税や住民税の課税対象所得から差し引かれます。会社などの年末調整や確定申告のときに社会保険料控除として申告してください。

◆納め忘れはありませんか?

社会保険事務所では、皆さんが年金を受ける権利を確保するために、納付期限を過ぎても保険料が納められていない場合、電話や自宅への訪問をして納付の案内をしています。

◆役場窓口年金相談日

12月8日(水)・22日(水)

1階国保年金係へお気軽にお越しください。

◆年金保険相談所の開設

主催 札幌北社会保険事務所

日時 12月20日(月)

10時～15時

場所 商工会館(錦町)

お知らせ

町主催新年交礼会を 来年以降は開催しません

町内で各種団体が新年交礼会を開催し、町にも多くの案内をいただいています。

町主催の交礼会がなくても、新年の顔合わせなどの目的は達成されると判断し、開催を取りやめることとしました。

問合せ 総務課総務係 (☎23 - 2330)


検診

健康チェックはお済みですか？
冬の検診のお知らせ

年に1度は、定期的に検診を受け、自らの健康管理にお役立てください。

料金 生活保護を受けている方は無料になります。

申込・問合せ 事前に電話でお申し込みください。福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23-2346）へ。

胃・肺・大腸がん検診			
日時	平成17年1月27日(木) 7:30~9:30		
場所	ゆとろ 申込期限 平成17年1月17日(月)		
検査内容	一般	町国保加入者	
胃がん検診～胃バリウム検査	35歳以上	1,400円	700円
結核検診～胸部レントゲン検査	15歳～39歳	無料	無料
肺がん検診～胸部レントゲン検査(必要者にはたん検査)	40歳以上	400円 (700円)	200円 (350円)
大腸がん検診～便の潜血検査		600円	300円
巡回ドック			
日時	平成17年2月3日(木)・4日(金) 7:30~9:30		
場所	ゆとろ 申込期限 平成17年1月24日(月)		
検査内容	一般	町国保加入者	
基本健康診査～血液検査、尿検査、心電図、血圧測定など	40歳以上	1,000円	500円
胃・肺・大腸がん検診がセットで受けられます		上記がん検診と同じ料金	
歯科検診～歯の検診とブラッシング指導		無料	
肝炎ウイルス検診～血液検査 40・45・50・55・60・65・70歳の方と過去に肝機能検査で異常があった方		500円	250円
基本健康診査～3月31日(木)まで 町内医療機関で受診可能	40歳以上	1,000円	500円

検診

対象者は受診を
「肝がん」の集団検診

道央肝炎友の会と(財)北海道難病連では「肝がん」の早期発見のための集団検診を行いますので、対象の方は受診してください。

対象 B型・C型肝炎、肝硬変患者、肝炎ウイルス感染者、輸血歴のある方、血縁関係のある家族に肝がん・肝硬変患者がいる方、血液製剤の使用経験のある方。

日程 2月5日(土)・6日(日)

場所 北海道難病連センター
(札幌市中央区南4条西10丁目)

検診内容 超音波検査・血液検査・専門医による療養相談など。

検診料 6,000円

定員 300人

申込期間 1月20日(木)～27日(木) 10時～16時

申込・詳細 道央肝炎友の会事務所(☎011-685-0268)

相談

子育ての悩み相談窓口
「巡回児童相談」

お子さんのより良い成長のために、是非ご利用ください。(事前申し込みが必要。)



開催日 平成17年1月25日(火)
場所 ゆとろ(西町)

相談内容 しつけ、言葉の発達、精神発達などのあらゆる相談。

相談員 北海道中央児童相談所の児童福祉司と心理判定員

申込期限 平成17年1月11日(火)

その他

相談人数に制限があります。(申込状況により、相談が受けられない場合もあります。)

相談時間は、申込者の事情などを考慮しながら決定します。(場合によっては、学校の授業時間中に設定されることもあります。)

申込・詳細 事前に福祉部子育て担当(「ゆとろ」内・☎23-3024)へ。

「健康づくり計画策定委員会」
を傍聴しませんか

(仮称) 当別町健康づくり計画

▼日時 12月20日(月)18時～
(2時間程度)

場所 ゆとろ(西町)

議題 推進・評価計画
スローガンの協議

詳細 福祉課保健サービス係
(「ゆとろ」内・☎23-2346)

法務局 無料 なんでも相談

◎ 12月14日(火) 17時～19時

札幌駅南口広場地下街アピア

◎ 「ライラックホール」

◎ 問合せ・詳細 札幌法務局(☎011-709-2311)

秘密は厳守

登記、戸籍や国籍、家賃紛争の供託、人権問題などの相談に札幌法務局職員が応じます。



町税・国保税の完納にご協力を

悪質な滞納者へは差押えを実施

皆さんが納める町税（町民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税など）は、将来に希望の持てる「まち」や「美しいまちづくり」を進めていくための貴重な自主財源です。

ほとんどの方が町税などを完納している反面、滞納額・滞納者が増えてきている現状にあります。納税に対する誠意がなく意識に欠ける、正当な理由がないにもかかわらず納税に応じない、といった滞納者に対しては、給料・預貯金・その他財産の差押えを実施します。

ただし、病気や失業などの事情で納期限内に納められない、一度の納税が困難な方などは、決してそのままにしておかずにご相談ください。



預貯金の差押え～銀行、郵便局を調査し預貯金を地方税法に基づき差押え。

◆差押え後は預貯金残高が減る為、必要な金額を引き出せなくなったり、残高によっては税金以外の口座振替なども引き落とし出来ない場合があります。

給与の差押え～地方税法に基づき、勤務先に給与の照会を行う。

◆給与の差押えが行われると滞納額が無くなるまで、毎月差押え後の給与を受け取るようになります。

相談・問合せ

税務課納税係（☎23-2332）

対象者は申告を忘れずに

▼申告・申請期限 平成17年1月31日（月）

▼提出・詳細 税務課資産税係（☎23-2333）

◆償却資産の申告◆

事業用償却資産の所有者には、固定資産税（町税）が課税されます。

対象 1月1日現在、町で事業を営み、事業用償却資産（税務会計上、減価償却資産の対象とすべき資産）を所有している方。昨年と資産内容に変更がない方、事業を廃止した方も必ず申告してください。

◆宅地に変更があった場合の申告◆

「住宅用地に対する固定資産税の課税標準」は、特例により価格の3分の1（200㎡以下の小規模住宅用地は6分の1）になります。ただし、認定には所有者の申告が必要です。

対象 1月1日現在、住宅の新築、増築、改築（2世帯住宅になった方等）、滅失などで土地の利用状況が変わった方。

◆家屋に関する届出◆

建物の面積に変更があった場合は連絡をください。

家屋を取り壊した、未登記家屋の名義を変更したときは届出書の提出が必要です。届出がないと、所有していない家屋に固定資産税が課税される場合があります。

対象 1月1日現在で家屋の増築、滅失や所有者が変わった方。

◆新築住宅の減免申請◆

平成16年中に住宅を新築された方は、町独自の制度により固定資産税が減免されます。（家屋調査の際に説明と手続きを行います。）

手続き

更新対象者は手続きを 排水設備工事責任技術者資格

排水設備工事責任技術者は4年ごとに登録更新の手続きが必要が必要です。

更新対象者 平成12年度に北海道排水設備工事責任技術者試験合格または資格登録更新手続きを行った方で、平成17年3月31日で登録期間が満了する方。

受付期間 平成17年1月17日（月）～21日（金）9時～17時

手数料 5,000円

手続き・問合せ 下水道課庶務係（☎23-3542）

試験など

危険物取扱者試験 消防設備士試験と講習

①第4回危険物取扱者試験

◎試験種類 乙種（第1～6類）、丙種

②第2回消防設備士試験

◎試験種類 甲種（第1～5類）、乙種（第1～7類）

①②共通事項

試験日 平成17年2月13日（日）

試験地 札幌市ほか

受付期間 12月8日（水）～16日（木）

③消防設備士講習

免許交付日から2年以上、その後5年以内の講習が必要です。

講習日 平成17年1月17日（月）～21日（金）3月7日（月）～11日（金）のうち指定する1日。

講習地 札幌市

受付締切

12月15日（水）

詳細 当別消防署消防課指導係（☎23-2537）



冬道安全通行の基本

①「滑る」から・・・

- 滑りにくい靴をはき、足元に注意して歩く⇒車の進路上に転んでしまう危険ある。
- 車が止まったことを確かめてから渡る⇒車はスリップしやすく、すぐに停車できない。
- 次の青信号まで待つ⇒あせって渡ると、転びやすい。

②「見えなくなる」から・・・

- いったん止まって車に自分の姿を見せる⇒積み上げられた雪の陰から横断する歩行者は車から発見されにくい。
- 対面通行を心がけ、車の動きに注意する⇒背面通行すると、車に気づくのが遅れる。
- 吹雪でも、ときどき顔を上げ、安全を確かめる⇒顔をふせていると、車の動きがわからない。



当別町の交通事故発生状況 (概数) (10月対比)

	平成16年	平成15年	増減数
発生件数	72	92	△20
死者数	4	4	0
傷者数	97	140	△43

自衛隊生徒募集のお知らせ

問合せ 江別募集事務所
(☎011 - 383 - 8955)

応募資格	中学卒業 (見込含) 以上17歳未満の男子
試験日	平成17年1月15日 (土)

自衛官募集説明会

参加希望の方は、保護者同伴でご出席ください。

日時 12月14日 (火) 18時
場所 白樺コミセン(白樺町)

氏名	年齢	世帯主	住所
藤田 ミツ	82	本人	太美町
牧 市蔵	87	本人	太美町
山下 喜美	75	本人	下川町
安房 義勝	74	本人	太美町
山本 正己	86	本人	西町
吉村 ミエ	69	幸	春日町
堀川 きくの	81	和雄	対雁
安榮 二美雄	83	修	蕨岱
小杉 耕作	61	本人	太美町
山崎 ミツ	73	マサ子	太美町
原 ひで	94	本人	太美町
逢見 秀雄	68	本人	錦町
常悦 つねえ	88	本人	園生
鶴吉 つるぎ	92	本人	太美町

おくりやみ申し上げます

10月14日～11月13日分

出生とおくりやみ

☆当別町社会福祉協議会へ
当別町赤十字奉仕団 (田村則委員長)
から10万円



ご寄付
ありがとうございます

氏名	父	母	住所
栗栖 理央	一朗	由香	北栄町
高島 尚之	慶貴	厚子	北栄町
大曾根 凛七	克典	かおり	獅子内
アスター 海	クニツ	久美子	太美町
キセバ 三ツ	三ツ	久美子	太美町
及川 空	雄太	萌枝	太美町
北川 百花	圭介	美由紀	太美町
佐渡 武大	剛	智美	緑町
柳谷 美有	因	篤	のり子
			獅子内

おめでとうございます

福うさぎ



～器・布・織作品展～

お散歩がてら遊びにいらしてください。

とき 12月1日 (水) 10時から
5日 (日) 16時まで
ところ こんもりホール
(春日町)・☎23-4331

福うさぎ 中川由美子、
目黒久美子、江口幸子

吉村幸さん (春日町) から5万円
牧スミ子さん (川下) から3万円
館田和江さん (東町) から3万円
住谷ミツさん (弥生) から手編みの靴下カバー110足
関ヨシエさん (東町) から手編みの手袋100双
玄米酵素グルーブ(株)コーケン (中小屋) からタオル100枚
☆日本赤十字社北海道支部石狩地区当別町分区分へ
新潟県中越地震災害義援金として、川村英雄さん (川下) から100万円

50の情報



気をつけて! 被害急増中
「オレオレ詐欺」

全国的に大きな社会問題となっている「オレオレ詐欺」。私たちの町も例外ではなく無作為に電話がかかっています。最近では、高齢者ばかりでなく、中年層にも被害が及んでいます。手口は○交通事故を起こした。○サラ金に手を出して追われている。など、考える暇を与えないようにして高額なお金を銀行から振り込ませようとしています。

不審電話に対応する注意事項
▽突然電話がかかってきても慌てず落ち着いて対応しましょう。
▽相手が不明の場合、「ちゃんなの」などと先に親族の名前を言わず、相手に名乗らせましょう。
▽相手が親族の名前を名乗っても、一度電話を切り、改めて本人に事実を確認しましょう。
▽相手が確認できない場合は、送金せず警察に通報しましょう。



正けんアミー
No.315 北本久美子



第55回 当別町文化祭

11月3日 音楽発表会 (西当別コミセン)
11月5日~7日 展示部門 (総合体育館)
舞台部門 (白樺コミセン)

参加状況◆音楽・舞台部門=27団体405人◆展示部門=33団体 9個人679点



香り立つ静かな時間



迫力満点に歌い上げた
当別混声合唱団



かわいい作品が勢揃いマクラメ編み



生花と見間違える
クレイクラフト



華麗な踊りを披露する
フラメンコサークル



当別町賞受賞
清野勲さんの菊

第12回スウェーデンヒルズ文化祭



10月29日~11月3日までスウェーデン
交流センターで開催。 作品数90点



法律相談

毎月第1木曜日に実施。
日時 1月6日
13時~16時
申込・詳細 事前に福祉課福祉
係(☎23-3019)へ。

心配ごと相談

毎月第2・4木曜日に実施。
日時 12月9日、12月24日
(23日は祝日のため24日に変更)
13時~16時
申込・詳細 町社会福祉協議会
(☎22-2301)へ。

◎会場 ともに「ゆとろ」(西町)

商店街活性化センター 「あえ〜る」情報

- ◆中川久雄絵画塾 塾生作品展
- ◆期間 12月3日(金)まで
- ◆風と光~中川久雄の世界
- ◆期間 12月7日(火)~17日(金)

時間は10時~17時(月曜は休館、祝日の場合は翌日/最終日は15時まで)。詳細は、「あえ〜る」(☎25-5116)または、商工会(☎23-2447)へ。
◆年末年始の休館=12月28日~1月6日

当別ふくろうの会作成カレンダー発売中! 1部1,000円申込は「あえ〜る」



町内の食材を使った料理を試食するスローフードの会。以前に当別に在住し、スローフードを実践している長井恵子さん(岐阜県)が開催したもので、参加者60人が手作り料理約40品の味を楽しみました。(11月1日・あえ〜る)

■人の動き 11月1日現在
()は前月との比較

人口	20,129人 (-19人)
世帯	7,734世帯 (4世帯)
男	9,857人 (-8人)
女	10,272人 (-11人)

12月

健康 Calendar

カレンダー

申込・詳細 福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23-2346）

ゆとろ～総合保健福祉センター（西町） 西コミ～西当別コミュニティーセンター（太美町）

事業名	対象者・内容	会場	日にち	時間	
お母さんと乳幼児向け	マタニティスクール	ゆとろ	6日 月	13:00～15:00	
	4カ月・10カ月児健診		13日 月 1月7日 金	受付13:00～14:00	
	1歳8カ月・3歳児健診	西コミ	17日 金 24日 金	受付13:00～14:00	
	ツベルクリン反応検査	ゆとろ	7日 火	13:00～13:30	
	BCG予防接種		9日 木		
	歯科検診・フッ素塗布	1歳から就学前までの幼児 虫歯のチェックと、歯を丈夫にするフッ素の塗布を行います。	西コミ	2日 木	10:00～14:00
成人向け	女性がん検診	ゆとろ	3日 金	受付7:20～8:00	
	健康相談		22日 水	9:30～11:30	
	健康運動相談（指導日）		10日 金	9:30～11:30	
	健康運動相談		毎週月・金曜		
	リハビリ教室		22日 水	10:30～14:30	
	ねこやなぎの会		15日 水	10:30～14:30	
	友遊会		14日 火	10:00～12:00	
	かすみ草の集い		西コミ	16日 木	10:30～14:30
	断酒会		ゆとろ	6日 月	18:30～20:30
	20日 月				



風邪対策のポイント!!

- ①できるだけ人ごみをさけ、帰宅時にはしっかり手洗いとうがいをする。
- ②十分な休養と栄養を摂り、抵抗力を落とさないように。
- ③室内の乾燥を避け、換気に気を配る。
- ④インフルエンザの予防接種。（大人は1回、子供は2回の接種が必要）
38度以上の急な発熱や、悪寒・関節痛・筋肉痛などの症状がある場合は、インフルエンザの可能性もありますので、早めに受診しましょう。





運動は大切だと思っけていても、始めることや続けることが難しいのが多くの人の本音ではないでしょうか？特に冬期間は「外に出るのが面倒」「滑るので怖い」などの理由で運動不足になりがちなので注意が必要です。

運動を始めるきっかけ、続けるコツ

「健康なまちづくり研修会」 齋川 義章 健康運動指導士の講演から



最近全力で走ったのはいつですか？
 こう聞かれても、すぐに答えられない方が多いと思います。生活習慣病の原因は食生活と運動です。食事を取りすぎている人が増えている一方で便利な社会になり体を動かす機会は少なくなっています。生活習慣病予防のためには意識的に体を動かす必要があります。

段差につまずくことはありませんか？

介護が必要な状態になる原因に「転倒・骨折」があります。筋力や

バランス能力が低下すると、つまずきやすくなったり、転びやすくなります。これらを防ぐには特に足の筋力を保つことが重要です。

運動を始めるきっかけは？

何か難しいことと考えるのではなく普段の生活の中で意識的に体を動かすと始めやすいです。なかなか始められないという方は、「料理の合間にかかとの上げ下げ」「テレビを見ながらストレッチ」から始めてみませんか？

続けるコツは？

目標を持つこと。「月・水・金は1時間歩く」「3カ月で3キロやる」など具体的な方が良いでしょう。また、達成できた時には、自分にご褒美をあげることも続けるコツです。

貯筋(ちよきん)をしましょう！

「筋力」は「お金」とは違い人から借りることも、もらうこともできません。自分で貯めて、自分で使うことしかできません。

ゆとろでは月1回、健康運動相談を行っています。齋川先生が自分にあつた運動方法をアドバイスしますので皆さんも「貯筋」をしましょうか？

町保健師 荒 厚子

Hospital 内科系急病当番医

平日 ⇒ 19時～21時
 土曜 ⇒ 14時～17時
 日曜・祝日 ⇒ 9時～12時・14時～17時

12月 (内科系急病当番医)						
1日 スウェーデン	2日 堀江	3日 勤医協	4日 堀江	5日 堀江	6日 太美	7日 近藤
8日 さわざき	9日 とうべつ内	10日 スウェーデン	11日 堀江	12日 勤医協	13日 堀江	14日 堀江
15日 堀江	16日 近藤	17日 さわざき	18日 とうべつ内	19日 スウェーデン	20日 堀江	21日 勤医協
22日 堀江	23日 堀江	24日 堀江	25日 太美	26日 さわざき	27日 とうべつ内	28日 スウェーデン
29日 堀江	30日 勤医協	31日 堀江	12月28日から1月4日までは、日曜・祝日の時間帯になります。			

1月 (内科系急病当番医)						
1日 堀江	2日 堀江	3日 太美	4日 近藤	5日 とうべつ内	6日 スウェーデン	7日 堀江
8日 勤医協	9日 堀江	10日 堀江	11日 堀江	12日 太美	13日 近藤	14日 さわざき

個別予防接種

DPT (ジフテリア・百日せき・破傷風)
 ⇨ 生後3カ月～90カ月未満
 DT (ジフテリア・破傷風)
 ⇨ 11歳・12歳
 麻しん ⇨ 生後12カ月～90カ月未満
 風しん ⇨ 生後12カ月～90カ月未満
 印の機関は事前に予約してから予防接種を受けてください。



医療機関

勤医協当別診療所	☎23-3010	末 広
近藤医院	☎23-2021	園 生
■ さわざき医院	☎25-2055	北栄町 要予約
■ とうべつ内科クリニック	☎22-1313	西 町 要予約
太美中央医院	☎26-2332	太美南
スウェーデン通り 内科循環器科クリニック	☎25-3151	太美町
■ 堀江病院	☎22-3111	樺戸町 要予約
当別ファミリークリニック	☎26-4649	太美町



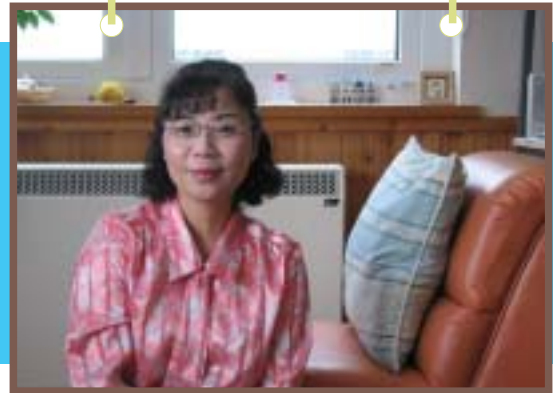
いま 現在を生きる

音楽療法士を目指して

新森 弥江さん (太美東)

皆さんは音楽を聴いたり歌ったりすると、楽しい気持ちになったり、スッキリしたりなどの経験をお持ちですね。

そのような音楽を一つの手段として心身の健康の維持や生活の質の向上などに活用する「音楽療法」を取り入れた活動を実践しています。



「私が音楽療法を本格的に勉強する最初のきっかけとして『かすみ草の集い』とのかかわりがとても大きいと思います。7年前に当別に引っ越し、当時は知り合いもなく友達を作りたいと思っていたときに、町広報誌の太美地区高齢者の閉じこもり予防を目的として発足したかすみ草の集いのボランティア募集が目止まったんです。もともと音楽の勉強をしていたので、音楽を通じて皆さんと交流したいと思い応募しました」と当時を振り返る新森さん。

かすみ草の集いでは音楽を生かして『歌のコーナー』を担当し、近所の高齢者やボランティアの方とも親しくなっていた新森さんが『音楽療法』に出会ったのは約5年前。

「かすみ草の集いで出会った、医療大学の先生から音楽療法を勉強してみてもと勧められ、『音楽療法』って何？と当時は何のことかも分かりませんでした。音楽に関わることなので興味もありやってみようと思いました。勉強を重ねるうちにちょっと挫折もしましたが、札幌大谷短期大学の音楽療法の先生に巡り会えて、現在も定期的に通って勉強をしています」と知識向上のための努力は欠かしません。

そんな新森さんの地道な努力が仲間を呼び『音楽を楽しむ会』が結成されました。



「音楽がとても好きな友人が集まってグループを作りました。音楽療法を専門に勉強している私が主となってプログラムを立て、メンバーの持ち味を生かしながら活動しています」

年に3回は、太美にある町立と特養の老人ホームを慰問し、一方通行ではなくお互いのコミュニケーションを心がけて、歌や演奏を聴いてもらったり、みんなで楽しく歌ったりする時間は入所者の方にも好評です。また、特養老人ホームには週1度、70代～80代の障がいの方に音楽療法を用いて交流をしています。「始めてから1年半くらいになります。声を出せなかった人が、声徐徐に出せるようになった。歌が上手に歌えるようになった。この時間を凄く楽しみにしているなどの変化が現れてきて、ホームの職員にも大変驚かれました。毎週その日の変化などをまとめて音楽療法としてどのように成り立っていくのか試行錯誤しながらやっているところです」

春からは札幌円山のデイサービスにも訪れている新森さんは、「楽器のトーンチャイムの音を「耳障りで聴きたくない」と言っていた70代のアルツハイマーの女性が回数を重ねるうちに「すごくいい音色ね」と言って鳴らしてくれるようになりました。毎週会っている私の事は覚えていないのです。記憶障害の方でも音や音楽の事は覚えていてこれが音楽療法の効果なのかと思う印象的な出来事でした」と語ってくれました。

このように町内外で活躍されている新森さんは音楽を通じて当別町にたくさんの『効果』を与えてくれることでしょう。

